

みんなが主役！美しいむらづくり実現に向けて ～長門大津地区～

Everyone plays a leading part in planning lovelier villages !

中田 英明
Nakata Hideaki

1．はじめに

山口県の西北部に位置する長門大津地区は、南に標高600m～700mの中国山地が連なるとともに古くから湯治場として親しまれてきた温泉があり、北は日本棚田百選に選ばれた向津具半島の棚田や北長門海岸国定公園に指定されている日本海に面した、美しい自然環境に恵まれた地域である。

この豊かな自然環境や伝統・文化などの地域資源を活かした、“地域住民が生き活きと誇りを持って暮らせる地域創り”を目指し、平成16年度に「美しいむらづくり支援事業」を実施したところであり、この事業への取り組みの概要を紹介する。

2．美しいむらづくりへの取り組み経緯

長門大津地区は、旧長門市、旧大津郡三隅町・日置町・油谷町の1市3町を対象としており、平成17年3月22日の市町合併により、現在は新「長門市」となっている。

美しいむらづくり支援事業の実施にあたり、平成16年5月に旧市町担当者、地元代表、民間学識経験者、県職員で構成する「美しいむらづくり推進協議会」を設置し、「美しいむらづくりとは？」「どうしたら実現できるのか？」などについて話し合った。

その結果、「美しいむらづくり」とは、「地域住民が生き活きと誇りを持って暮らせる地域を創ること。それは、自然環境や景観、伝統・文化など地域の個性を大切にし、持続的な営農を核とした地域の活性化や都市との交流によって実現される。」と結論づけた。

一方、新市将来構想における将来像は「豊饒の海と大地に、笑顔行き交う、未来のまち」とされており、基本目標5項目が表-1のとおり示されており、美しいむらづくりを検討する際には、この将来像に沿うものとする事とした。

このため、美しいむらづくり支援事業の基本方針を、「市町合併前にもう一度自らの地域を見直し、地域の魅力の再発見、地域らしさの追求、住民主体の元気な地域づくりによる新市形成の促進に寄与すること。」とした。

表-1 新市 基本目標

この基本方針に基づき、生き活きと誇りを持って暮らせる地域づくりの具体的なイメージやその実現手法等について“うるわしながと未来工房”(美しいむらづくりをイメージしたワークショップの名称)において検討することとした。

自然と人が安らぐ安全なまち
6次産業が栄えるまち
生きがいと笑顔があふれるまち
個性豊かに人が輝くまち
みんなで創り、自分発信するまち

3．ワークショップ「うるわしながと未来工房」の概要

ワークショップ委員は、旧市町からそれぞれ8名づつ(全体で32名)選任し、7月～11月の間にワークショップを6回実施し、併せて地域リーダーの育成研修も開催した。(表-2)のとおりワークショップは、各地域の課題について各地域グループごとに「うる

わしながと未来工房」

の全体実施プログラムに沿って検討し、その後全体発表という手順により行った。

最終的に、地域ごとの「美しいむらづくり推進計画」(テーマ)(表-3)と、その推進計画の

推進プランを取りまとめた。

表 - 2 うるわしながと未来工房プログラム

第1回	うるわしながと春夏秋冬__地域を見つめなおしてみよう
第2回	うるわしながと修楽旅行__地域を巡ってみよう
第3回	顔の見える地域づくり__課題を考えてみよう
第4回	地域の魅力づくり__夢や方向性を思い描こう
第5回	うるわしながと未来戦略__推進計画を考えよう
第6回	みんなが主役__仲間とともにできることから始めよう
地域リーダー育成研修「あるもの探しの地元学」	

表 - 3 各地区の美しいむらづくり推進計画(テーマ)

(長門)河原地区	河原はおいしい!やさしい!食と農の第6次産業づくり
(長門)依山地区	温泉・スポーツ・食・農をつなぐ依山グリーン・ツーリズム
(三隅)湯免地区	美しい田園と温泉を活かした癒しと文化の里づくり
(日置)日置平野	継続的な地域循環型農業の推進と日置平野の美しい景観保全
(油谷)向津具半島	棚田文化が息づく楊貴妃の里ぐるっと向津具半島ミュージアム

4. 美しいむらづくり支援事業の成果

美しいむらづくりの実現に向けた「うるわしながと推進計画」と地域ごとの「推進プラン」の策定を行うとともに、5グループが関係機関と連携してこの計画やプランを実行するための体制整備が整いつつある。

具体的実施プランの実現例を紹介すると、旧油谷町において向津具半島の棚田景観保護を目的に山口県初の「棚田保護条例」が制定され、平成16年12月20日に施行された。

また、旧長門市河原地域では、食文化を見直し伝統食を伝える活動として平成17年2月26日に「食の祭典2005ひなまつり」が開催され、依山地域ではグリーン・ツーリズム推進活動との連携が図られるなど、少しずつではあるが推進計画が実行されている。

5. 今後の展開と感想

平成17年度に長門市の農村振興基本計画を作成するとともに、平成19年度からは、施設の構想段階から地域住民が参画し、整備後には地域住民自らが維持管理を行う体制の下に総合整備事業を計画しており、「美しいむらづくり推進計画」の実現に向け、今後とも支援を行うこととしている。

このように、美しいむらづくり支援事業に1年間携わってきたところであるが、それぞれの地域においては、自らの地域と向き合い真剣に地域における魅力の再発見や将来像を語り合ったことによる仲間意識の醸成がされたこと。

また、市町合併により一つの市となったこれら5つの地域間においては、互いの地域を認めあったうえで将来的にも助け合えるパートナーとしての地域間連携意識が芽生えたことが、「美しいむらづくり支援事業」を実施した最大の効果ではないかと感じている。

山口県長門農林事務所 Nagato Agriculture & Forestry Office, Yamaguchi Prefectural Government

農村景観

市町合併

地域振興

